

公益社団法人新潟県農林公社だより

アグフォレター

発行：

公益社団法人 新潟県農林公社

〒950-0965

新潟市中央区新光町 15 番地 2

TEL (025) 285-7711



林業労働力確保推進事業（にいがたグリーンワークセンター）

森の仕事体験（林業体験講習）を開催しました

森の仕事体験は、高校生や大学生、専門学校生を対象とした1泊2日の林業体験研修です。林業の実際の作業を見学したり体験することで、将来の仕事について考える貴重な機会となっています。



今年はこれまでの村上地域での開催に加え、初めて上越地域でも「森の仕事体験 in 上越」と題して開催しました。

参加者は、村上では高校生・大学生・専門学校生と多方面に渡り、上越では高校生中心でした。地元高校を卒業し、実際に林業に就職している先輩の体験談や高性能林業機械の操作体験、立木の伐採体験など、有意義な時間を過ごせたようです。

にいがた就農フェア＆就農相談会が開催されました



新潟県主催の「にいがた就農フェア＆就農相談会」が、10月7日に東京都中央区の八重洲ホールにおいて開催されました。当日は新発田市を初め7市町村等とココスム新潟、新規就農相談センターが出席し、就農・就業に関する情報を提供しました。

このイベントは、近年増加している新規参入者に、継承できる農地などの経営資産や研修受入体制などの情報発信を目的に開設された「就農にいがた・スタート

ナビ」のオープニングセレモニーを兼ねて開催され、農林公社からも相談員が出席して農業法人への就業や農業体験、農業の研修先に関する就農相談に対応しました。参加者はブースを回り、各市町村等の支援策の内容や栽培されている農産物について熱心に情報収集をしていました。1人でも多くの方が新潟県で就農・就業の夢を実現することが期待されます。



6次産業化サポートセンター事業

「そばの郷Abuzaka」が好評です



国の「六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画」で認定を受けた十日町市の農家レストラン「そばの郷Abuzaka」が3月7日にオープンしました。

当センターでは、総合化事業計画の策定支援から、計画認定後のレストラン運営、メニュー・商品開発、店舗運営・人材育成などの課題解決に平成27年度に8回、平成28年度には13回の

プランナーを派遣し支援を行ってきました。

現在、日平均で130人、休日になると170人ほどが訪れており来店客から非常に好評です。それに応じて売り上げも順調に伸びています。

地域では、そばが16ヘクタール作付けされていますが、今後も面積拡大の計画もあり、さらなる活性化が期待されます。



農地中間管理事業（農地集積バンク）

関係機関・団体との連携強化の取組を推進しています

国の制度運用の変更等により農地中間管理事業の推進も厳しい状況にある中、関係機関・団体との連携強化により担い手や地域への支援・指導が一層重要となっています。

このため、3月に連携協定を締結した担い手団体にはPR用チラシの配布や意見交換会を開催してきました。また、新たに創設された機構関連事業を含めた農地整備事業との連携では、関係機関による推進会議の開催や要請のあった地域には直接出向き現地での打合せや契約書類の作成支援を行ってきました。さらに、農地利用の最適化を担う農業委員会組織には新任の農業委員及び最適化推進委員の研修会への参加などを通じ、情報提供等を行ってまいりました。



グリーン・ツーリズムセンター事業

グリーン・ツーリズム全体交流会を開催しました

「新潟県グリーン・ツーリズム全体交流会 in 越後田舎体験」を10月13日から14日に開催し、103名の皆様に参加していただきました。

今回は、例年と異なり座学ではなく、大会初日も越後田舎体験で実施している「体験」のブラッシュアップのために、グリーン・ツーリズム実践者の目を通したアドバイスを聞くという趣旨で「民泊受入家庭訪問」「ブナ林観察」などの体験が行われました。

グリーン・ツーリズムの先進地が行う体験は、いずれもレベルが高く、逆に参加者から「とても参考になる」という感想が多く寄せられました。大会に関しても「2日間の交流で様々な情報を得ることができ、今後の活動につなげたい」という感想をいただきました。



共同事業体による利用間伐を実施しています



平成 29 年度から「企画提案型利用間伐等促進事業」となった公社の利用間伐は、「共同事業体」による事業への参加方法を導入しました。

これは、地域内の認定事業体の共同施業により、①土場の共有、②高性能林業機械の共同利用、③木材の販売ロット拡大による有利販売、④請負業者間の交流、などによる低コストな林業の実現を目指すものです。

今年度は、阿賀町と南魚沼市で、共同事業体による利用間伐を実施しています。

地域の事業体同士が協力することで、地域林業の活性化につながる取り組みです。関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

分収林整備事業（カーボン・オフセット事業）

エコツアーを通じて森林整備の大切さを広めています

新潟県・イオン包括連携協定に基づく「新潟エコツアーCO2ゼロチャレンジ in 佐渡」が6月24日に佐渡島内で開催され、小学生の親子30組に参加いただきました。

移動中のバス車中では“森と木のひみつ”クイズで森林の役割を学習し、現地では間伐の必要性について説明を受けた後、地元森林組合による伐採のデモンストレーションを見学しました。



約8mの立木伐倒の迫力に参加者からは歓声が上がっていました。見学後は児童による丸太切りやコースター作り等の体験を通じて森林整備の大切さを学んで頂きました。

また、佐渡副市長立ち会いのもとで J-VER 授与式が行われ、97 トン分の CO2 をオフセットする無効化証明書をイオンリテール北関東・新潟カンパニー支社長へ授与しました。